

麻酔科・集中治療部

a 体制—当該年度の特徴・スタッフ等

麻酔科学会プログラム研修のレジデント3名(福元、若田、熊谷)は麻酔科研修2年目となり、4月からは簡単な麻酔症例は原則ひとりで担当可能となった。4月から原朋子が、また9月から白井ひろみが産休から復帰した。また10月には副部長として野々村智子を採用した。1月から柚木圭子が産休入りしたが、マンパワーとしてはここ数年で最も充実していた。結果として、昨年より増加した総計3,807例の麻酔科管理症例を比較的余裕を持って無事に管理することができた。ICU入室症例は693例で、多くのICU研修を希望する医師と共に充実したICU活動を行うことができた。研究活動においては、引き続き、関西医科大学廣田教授との共同研究で科研費の基盤研究Cを行った。

スタッフ

副院長・麻酔科部長・中央手術部長	足立健彦
麻酔科主任部長	加藤茂久
集中治療部部長	宮崎嘉也
副部長(短時間勤務正職員)	佐々木由紀子
副部長	黒寄明子
副部長(短時間勤務正職員)	原朋子
副部長(10/1採用)	野々村智子
医員(短時間勤務正職員：1/24から産休)	柚木圭子
医員	直井紀子
医員	白井直人
医員(短時間勤務正職員：9/24まで育休)	白井ひろみ
医員	村田裕
レジデント	福元友梨
レジデント	若田竜一
レジデント	熊谷友里

b 診療実績—臨床統計等

麻酔科管理症例数 3,807
内 全身麻酔数 3,424
内 緊急手術数 428

集中治療部入室症例数 693
内 人工呼吸症例数 179
内 血液透析症例数 33

C 学会

- 1 足立健彦 デクスメデトミジンの術中使用の歴史と現在 L32 共催セミナー
局所麻酔下の手術処置時のデクスメデトミジンによる鎮静の有用性～その安全な使用法を探る～ 日本麻酔科学会第 63 回学術集会 2016/5/26-28 (福岡)
- 2 熊谷友里、黒寄明子、足立健彦 先天性胆道拡張症手術で術中の胆道造影が原因
と考えられる血圧低下を来した 2 症例 日本麻酔科学会第 62 回関西支部学術集
会 2016/9/3 (大阪)
- 3 若田竜一、黒寄明子、加藤茂久、足立健彦 全身麻酔導入後にアナフィラキシー
ショックを発症した 2 症例 日本麻酔科学会第 62 回関西支部学術集会 2016/9/3
(大阪)
- 4 福元友梨、村田 裕、足立健彦 脳室腹腔シャントを有する妊婦の帝王切開術
日本麻酔科学会第 62 回関西支部学術集会 2016/9/3 (大阪)
- 5 Akiko Kurosaki, Takehiko Adachi, Hiromi Shirai, Naoto Shirai, Aya Nakanishi,
Yutaka Murata
ANESTHESIA MANAGEMENT FOR LAPAROSCOPIC PYLOROMYOTOMY IN
INFANTS WITH HYPERTROPHIC PYLORIC STENOSIS: USING
SUGAMMADEX AND ROCURONIUM THE 8TH WORLD CONGRESS ON
PEDIATRIC INTENSIVE AND CRITICAL CARE 2016/6/3-10 (Toronto,
Canada)

D 書籍

- 1 白井直人 4. 1 循環器系麻酔ポケットマニュアル 4 章 モニタリング
p.142-151 中尾慎一編 2016/5/13 初版第 1 刷発行 中山書店 東京
- 2 宮崎嘉也 4. 2 呼吸器系麻酔ポケットマニュアル 4 章 モニタリング
p.152-160 中尾慎一編 2016/5/13 初版第 1 刷発行 中山書店 東京
- 3 足立健彦 4. 3 筋弛緩麻酔ポケットマニュアル 4 章 モニタリング
p.161-170 中尾慎一編 2016/5/13 初版第 1 刷発行 中山書店 東京
- 4 加藤茂久 4. 4 神経系麻酔ポケットマニュアル 4 章 モニタリング
p.171-181 中尾慎一編 2016/5/13 初版第 1 刷発行 中山書店 東京
- 5 足立健彦 モニターのない時代の麻酔 モニターのない状態の麻酔 Message
from the Mentor 麻酔ポケットマニュアル 4 章 モニタリング p.182 中尾慎一
編 2016/5/13 初版第 1 刷発行 中山書店 東京
- 6 村田 裕、足立健彦 気化器の構造はどのようになっているか 新・麻酔科研
修の素朴な疑問に答えます p.306-309 稲田英一編集 2016/9/3 発行 第 1 版
第 1 刷 メディカル・サイエンス・インターナショナル 東京